

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

Shostakovich  
Symphony No. 13

## Babi Yar

Yuri Temirkanov

人間の正義とは、生きるとは？

ユダヤ人の虐殺事件と  
体制への告発を音にした衝撃作に  
80歳の巨匠テミルカーノフが  
熱い想いを込める！

ハイドン：交響曲第94番 長調「驚愕」

Haydn: Symphony No. 94 in G major "Surprise"

ショスタコーヴィチ：交響曲第13番 変ロ短調  
「バビ・ヤール」  
作品113

Shostakovich: Symphony No. 13 in B flat minor, op. 113 "Babi Yar"

手刀のような指揮で聴衆を魅了！ロシアの世界的巨匠

ユーリ・テミルカーノフ 読響名誉指揮者

Yuri Temirkanov, Conductor

鬼オクルレンツィスとの録音が話題を呼んだ実力派

ピョートル・ミグノフ バス

Petr Migunov, Bass

巨匠たちがこぞって絶賛する日本屈指のコーラス

新国立劇場合唱団 男声合唱(合唱指揮：富平恭平)

New National Theatre Chorus, Men's Chorus

(Kyohei Tomihira, Chorusmaster)

読響日本交響楽団 第592回 定期演奏会

2019 **10/9** (水) 19時 **サントリーホール**

9月30日まで **S ¥9,500 A ¥7,500 B ¥6,000 C ¥5,000**

10月1日以降 **S ¥9,700 A ¥7,600 B ¥6,100 C ¥5,100**

※2019年10月1日以降、消費税率が変更された場合、料金が変わります。

Subscription Concert, No. 592

Wednesday, 9th October 2019 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時-18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人アフィニス文化財団 Affinis CULTURE

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

協力：アブラック

# 衝撃的に響く「バビ・ヤール」。 巨匠の渾身のタクトが、 音楽の力を現代に呼び覚ます!

ロシアの世界的巨匠ユーリ・テミルカーノフが約1年半ぶりに来日する。2017年の読売新聞のインタビューで、「もう自分は好きな作品しか指揮しない年齢になった」と語ったマエストロ。今回、「定期演奏会」に選んだのは、ショスタコーヴィチの交響曲第13番「バビ・ヤール」。ショスタコーヴィチの交響曲の中でも、バス歌手と男声合唱の加わる第13番は、音楽的にも内容的にも非常に重く、そして至るところから血が噴き出すばかりの強烈な作品だ。

1941年9月29日から30日にかけて、ナチス・ドイツは、現ウクライナのバビ・ヤール溪谷でユダヤ人3万3771人を大量虐殺した。その後もユダヤ人の殺害が続き、その数は約10万人以上とも言われているが、正確な数は分かっていない。1961年、当時20代後半の詩人エフトゥシェンコはユダヤ人迫害に対するソ連の無関心を告発する詩「バビ・ヤール」を書いた。翌62年、ショスタコーヴィチはこの若き詩人の作品に感銘を受け、エフトゥシェンコの他の詩も盛り込んでバス独唱と合唱付きの大作、交響曲第13番を作曲した。第1楽章「バビ・ヤール」に始まり、「ユーモア」「商店で」「恐怖」「出世」と全5楽章から成る。革命のさなかに生きたショスタコーヴィチは、詩人とともに反ユダヤ主義者への怒りを音で表し、社会体制を痛烈に批判しながら、人間の愚かさや美しさに温かな眼差しを向けている。

祖国ロシアを愛するテミルカーノフが80歳を迎えた今、この歴史的大作を指揮するとき、どんな想いが募るのだろうか。巨匠が全身全霊を傾けた渾身の指揮が、音楽という芸術の持つ計り知れない力の大きさを感じさせてくれることだろう。

バス独唱は、テミルカーノフからの信頼の厚いピョートル・ミグノフが務め、日本を代表するプロ合唱団の国立劇場合唱団が男声合唱として共演する。読響がこの曲を演奏するのは、1988年9月のロジェストヴェンスキーが指揮した時以来、2回目となる。

前半には、古典派ハイドンの交響曲が選曲された。テミルカーノフが読響でハイドンを振るのは初めて。マエストロならではの気品あふれる演奏に、様式美や幸福感を感じられるだろう。なお、彼が2015年にサンクトペテルブルクで「バビ・ヤール」を指揮した際も同曲を演奏している。前後半を対比しながら、組み合わせの妙をお楽しみいただきたい。

## バス ピョートル・ミグノフ Bass= Petr Migunov

テミルカーノフから信頼を寄せられるバス歌手。レニングラード生まれ。サンクトペテルブルク音楽院を修了。グリーンカ国際コンクール第2位など受賞多数。2000年にカーネギーホールにデビューして成功を収め、03年からはボリショイ劇場を中心に、世界各地で活躍している。これまでに〈イオラント〉ルネ王役、〈ボリス・ゴドゥノフ〉ピーメン役、〈炎の天使〉ファウスト役などを歌う。ロジェストヴェンスキー、ゲルギエフ、ソヒエフらと共演を重ねている。クルレンツィスからショスタコーヴィチの交響曲第14番のソロに何度も指名され、マラー室内管との共演ではベルリン音楽祭に出演。ムジカエテルナのCDは日本レコード・アカデミー賞を受賞するなど、高い評価を得ている。



読響名誉指揮者

## ユーリ・テミルカーノフ Conductor= Yuri Temirkanov

世界各地で愛されているロシアの偉大なマエストロ。ムラヴィンスキーの後を継ぎ、1988年から現在に至るまでサンクトペテルブルク・フィル(旧レニングラード・フィル)の芸術監督・首席指揮者を務め、充実した音楽活動を展開している。これまでにレニングラード響、ロイヤル・フィルの首席指揮者、キエロフ劇場(現マリインスキー劇場)の音楽監督、ドレスデン・フィルの首席客演指揮者などを歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、ニューヨーク・フィルなど世界の一流楽団と共演を重ねている。BMGレーベルから多数のCDをリリース。読響には2000年の初登場以来、共演を重ねており15年6月から名誉指揮者の任にある。楽団員と聴衆双方から絶大な支持を得ている。

男声合唱

## 国立劇場合唱団

(合唱指揮=富平恭平)

Men's Chorus= New National Theatre Chorus  
(Chorusmaster= Kyohei Tomihira)

日本が誇るトップレベルの合唱団。国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の格を担う合唱団として活動を展開し、世界の巨匠たちからも高い評価を得ている。読響とは2007年以降、年末の〈第九〉公演をはじめ数多く共演している。特に2017年11月のメシアン〈アッジジの聖フランチェスコ〉では見事な歌唱を披露し、絶賛を博した。

読売日本交響楽団 第592回 定期演奏会

2019年 10月9日(水) 19時開演

## サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

2019年9月30日まで... S ¥9,500 / A ¥7,500 / B ¥6,000 / C ~~¥5,000~~

2019年10月1日以降... S ¥9,700 / A ¥7,600 / B ¥6,100 / C ~~¥5,000~~

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■2019年10月1日以降、消費税率が変更された場合、料金が変わります。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017